

平成25年5月21日

【別紙2】平成24年度施策実施状況報告書

<p>□施策名</p> <p>交流人口の創出について ～佐久の冬魅力創出事業～</p>	<p>□施策区分</p> <p>1. 世界最高健康都市の構築 ② 交流人口の創出 3. 地域経済の活性化</p> <p>4. 安心安全な子育て支援 5. 徹底した情報公開による市民参加型市政の実現 6. その他</p>	<p>□所管部署</p> <p>経済部 観光交流推進課 直通：0267-62-3285 kanko@city.saku.nagano.jp</p>
<p>□目的又は成果の目標</p> <p>冬季における誘客施策として、東北信地域最大規模のイルミネーションイベント「SAKU BLOOM イルミネーション」を初開催しました。これにより県内はもとより日本全国から、佐久市を「訪れ」、「滞在する」イベントとして、佐久市の「交流人口の創出」や「地域経済の活性化」の推進及び、私たちが住む「佐久市」をより魅力あるものとして次の世代に伝えていくことを目的としております。具体的な成果目標としては、12月1日から2カ月間の開催期間中の来場者数を70,000人に目標設定し実施いたしました。</p>		<p>□予算措置の状況</p> <p>○平成24年度決算見込み 14,000 千円 ----- ○平成25年度当初予算 千円</p>
<p>□施策概要</p> <p>1. 実施主体 SAKU BLOOM 実行委員会 【構成団体】 (公社)佐久青年会議所・佐久市・佐久市観光協会・佐久商工会議所・株式会社櫻山工業・イオンリテール株式会社イオン佐久平店 JR東日本長野支社 佐久平駅・佐久浅間農業協同組合・学校法人 佐久学園佐久大学・株式会社 ミエ・エファップ・シャボン</p> <p>2. 実施期間 2012年12月 1日(土) ～ 2013年 1月31日(木) 2カ月間</p> <p>3. 実施場所 ミレニアムパーク (JR佐久平駅 蓼科口西) ※装飾面積=約7,000㎡</p> <p>4. 決算金額 収入金額 31,015,555円 【主な内訳：市負担金=1,400万円 県支援金=270万円 協賛・寄付=1,340万円(113社)】 支出金額 30,756,620円 【主な内訳：LED電球・デザイン・施工=1,840万円 場内広告=307万円 広報費=447万円 イベント=176万円 グッズ開発=243万円】</p> <p>5. 開催主旨 「佐久の美しい星空」を、イルミネーションを用いて地上で表現し、美しい自然環境と心の豊かさを求める現代社会に対し、家族や大切な人との大切な時間を過ごす場として提供し、県内はもとより日本全国から、佐久市を「訪れ」、「滞在する」イベントとして、佐久市の「交流人口の創出」や「地域経済の活性化」の推進及び、私たちが住む「佐久市」をより魅力あるものとして次の世代に伝えていくことを目的に、5年から10年の長期間に渡るプロジェクトとして位置づけています。</p> <p>6. デザイン 「佐久市上空の美しい星空が地上に舞い降りて光の花を咲かせる 舞い降りた光が形を変えて 街中に広がっていく」 SAKU BLOOM イルミネーション2012～光の花が咲く～ はこのようなストーリーからデザインされました。 なお、デザイン・施工選定は実行委員会が全国の企業からの提案をプロポーザル方式による選考で決定しています。</p> <p>7. イベント ・点灯式 ・オリジナルケーキ販売 ・イルミネーションワークショップ ・園児製作クリスマスツリー展示 ・クリスマス仮装大会 ・フォトコンテスト ・宙ガールSpecialライブ(篠原ともえライブ) ・星空ウェディング ・星空観望ツアー ・クーポン付ホログラムメガネ販売 ・消灯式</p> <p>8. 来場者数 52,000人 (会場内(ミレニアムパーク)の来場者を1時間毎にカウント。滞在時間を15分と想定して積上げた独自集計方法です。) (居住内訳：佐久市内=61% 東信地域=22% 北信地域=9% 首都圏=5% 中・南信=2% その他=1%) ※会場アンケートより</p> <p>9. 経済効果 76,960,000円 (会場アンケート結果における市外来場者数に対し、「長野県観光地利用者統計」における「佐久平の消費額数値」(日帰り=2,000円 宿泊=16,000円)を利用して算出。なお、日帰りは県内来場者、宿泊は首都圏来場者としております。)</p> <p>10. 結果検証 当初の来場者数を70,000人と目標設定したものの、結果52,000人と目標数値に届くことができませんでした。考察すると、2カ月間の実施期間のうち、1月以降の来場者数が激減していることから、点灯時期を早めるなど開催期間を検討する必要があります。 会場アンケート結果から来場者を見ると、市外から訪れた方が40%を占め、首都圏、北陸地方からもお越しいただいていることから、初年度としては予想以上に「佐久市を訪れる」という目標については達成できました。また、来場者の年代をみると、20代・30代の家族連れが60%を占め、コアターゲットとした「子どものいる若いファミリー世代」の来場に成功しております。 これらの来場リピート希望も88%であることから、開催認知度が向上するにつれて今後更なる来場者数の増加が期待できます。 イルミネーションデザインについては、会場アンケート及びSNSによる書き込みを取りまとめたところ、好評な意見が多数を占めておりますが、「会場面積に比べ電球数が少ない」「色合いが寂しい」「インパクトがない」といった意見も聴かれました。このことから2シーズン目については同会場内において装飾電球数を40万球に目標設定するとともに、デザインについても多種多様の提案を受けながら実行委員会にて選定していきます。 また、イルミネーションに絡めて佐久市内を紹介するツアーを実施したところ、春日温泉、臼田スタードーム、佐久のケーキ等が非常に好評であったことから、新たな観光資源であるイルミネーションから、佐久市が従来から持つ観光資源を再認識いただき、交流人口の創出及び地域経済の活性化を図ることが有効的手段であると言えます。</p>		

